

金城学院幼稚園 2025年度

こどもニュース

12/9

発行

No.13

【アドベントを迎えました】

幼稚園では11月26日からアドベント(待降節)に入りました。子ども達と一緒にカイズカイブキの枝で作ったクランツに4本のろうそくを立て毎週一本ずつ火がともされていきます。残念な事に1回目のアドベントはインフルエンザの感染拡大防止対策のために、急遽合同礼拝を取り止めました。12月3日の合同礼拝では、2本のろうそくに火が灯されました。一週ごとにろうそくの明かりが増えていくのを見ることは「どんな時でも神様が見ていて下さる」という事を実感できる瞬間です。

アドベントは救い主イエス様の降誕を「待ち望む」期間ですが、毎年この時期を迎えるといつも(私たちの日常に「待ち望む」ということがどのくらいあるのだろうか。)と考えます。待つからこそ喜びも大きいと思うのですがスピード感を求められる現代社会では「待つ」ことは常にマイナスのイメージで語られてしまいます。「お待ちせしません!」「すぐに対応します!」ということばかりが強調される現代社会、ちょっとでも長いと、たった15分程度の動画でさえ「切り取られて」しまいます。このスピードはどこまで求められれいくのか、そこに果てしなく対応がなされていくのか、しばしば不安になります。

すぐに解決しない、正解があるわけではない、不安定で不確実で複雑であいまいな世界になるとの予想ですが、すでにそのような時代になっている事を感じます。そのような状況の時にこそ慌ててバタバタと動くのではなく、自分たちが本来大事にしたい事が何なのかをしっかりと振り返り、じっくりと腰を据え取り組みたいと思っています。

あわただしい「師走」でもありますが、だからこそアドベントの時を丁寧に過ごしたいと願っています。



【待ち望む】



そのような願いもあり、園のクリスマスは1か月以上をかけてゆっくりと進みます。

園芸の会の皆様が創ってくださったリースを飾り、クランツに一本ずつ火を灯し、少しずつ讃美礼拝のハレルヤが進み、子ども達の歌声が園のそこそこから聞こえるようになり……。いっきに華やかな飾りに彩られるのではなく、そのようにして日一日と本当のクリスマスに向かうアドベントを大事に丁寧に過ごしていきます。

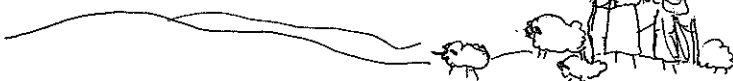
先日年少さんも「クリスマスブック」を年少あつまりの中でもらいました。年長さんは11月の初旬に自分たちの役割が決まったタイミングで受け取りますし、年中さんも中旬には「聖歌隊さん、よろしくね」と手にします。それぞれが担当の「ハレルヤ」の時に嬉しそうに大事そうに持って集まるのをじーっと見ていた年少さんです。クラスで讃美歌を歌う時などは年長さんや年中さんに「見せてあげるね」と言ってもらっていましたが、とっとうらやましかったはずです。

「待って待って待って」やっとな受けとったクリスマスブック。

その時の年少あつまりでは歓声があがったということですが、沢山の年少さんが「見てみて!」とオリーブに見せに来てくれましたし、帰りに「ホラ!」と誇らしげにおうちの方に見せている姿、喜びに満ち溢れている姿に、あらためて「待つ」事の大切さを感じました。

そのように考えると讃美礼拝の最初に聖歌隊さんが歌う「かみさまのおやくそく」という讃美歌に想いが至ります。2番が

「とうといかたのおうまれを
みんなでたのしくいわおうと
その日かぞえて まつうちに
なんびやくねんもたちました」



いつか、きっと...

という歌詞なのですが、イエス様のお誕生は、何世代にもわたり語り継がれ、待ち望まれた事だったからこそ、大きな喜びだったのですね。

お時間の都合がございましたら、ぜひ木曜日に予定しています保護者の讃美歌練習にご参加ください。「練習」と名前がついていますが上手に歌えることが目的ではありません。子ども達とともに迎える讃美礼拝が大人にとっても、より豊かなものになるようにという園の願いと、讃美歌と一緒に歌うことで子ども達と喜びを分かちあいたいという保護者の願いが合わさり、長年実施されてきました。子ども達が讃美礼拝で歌う場面のエピソードや歌詞の意味なども交えながら進みます。ぜひご参加いただき、ともに豊かな時を過ごしましょう。

讃美礼拝では、待ち望み、やっとなイエス様をお迎え出来た、その喜びを皆さんでわかちあいたいと思います。

児玉 芽



クリスマスブックについて

讃美礼拝の準備（ハレルヤ）が始まり、子どもたちはクリスマスブックを受け取っています。自分の名前が書いてあるクリスマスブックには一人ひとりが担う言葉や歌が載っています。このクリスマスブックは、クリスマスの準備を進めるハレルヤで使用するものですので、毎日リュックに入れて幼稚園に持ってきてください。また、保護者のみなさんも讃美歌練習という「ハレルヤ」があります。その時には、子どもたちからクリスマスブックを借りてご参加ください。（今年度は12月11日（木）9:15～、2回目の讃美歌練習が予定されています。）

年長児はクリスマスブックを受け取ると、何度も自分の担う役のページを開き、「ここが私のところだよ!」と友だち同士で見せ合って嬉しそうにしていました。中には「難しいけど頑張る!」「ここはまだ覚えてない…」と繰り返し読んでいる子や、表紙の絵に色鉛筆で丁寧に色を塗っている子がいました。子どもたちにとっては特別な本ようです。年中さんと年少さんも、憧れの年長さんと同じクリスマスブックがもらえる日を心待ちにしていましたよ。

保護者の方はぜひ讃美歌練習にご参加ください♪そしてアドベントの期間、子どもたちと一緒にクリスマスブックを見ながら、おうちでロズさんでみてくださいね。イエス様のお誕生を待ち望む気持ちを分かち合えたら嬉しいです。

このクリスマスブックは幼稚園で何十年も前から(!!)使われているものです。毎年毎年、子どもたちの思いや希望を受け止めながら少しずつ改訂を重ねてきました。例えば、ある年『天使』では「言葉よりも歌が歌いたい」という希望が出たことがあり、子どもたちの意見で「両方あってほしい」と決まりました。

讃美礼拝は劇ではありません。そのため、イエス様の誕生を喜び迎える姿を聖書にそって表せば、役柄によっては言葉を増やしたり、衣装のある限り人数を調整したりして、子どもたちの希望や思いがなるべく叶うようにと考えています。

またこの先、一人ひとりが言葉を覚えていく中で、言いまわしや表現がクリスマスブックとは少し変わるところが出てくるかもしれません。それは子どもたちが、その役柄を身体を通して理解した時、クリスマスブックに出てくる言葉が単なる「台詞」ではなくイエス様の誕生を祝う、子どもたち自身の「心の言葉」として表現されるからだと思います。

讃美礼拝当日は子どもたちの心のこもった言葉に耳を傾けていただき、共に讃美の時を過ごしましょう。

【お願い】

クリスマスブックは役柄の決定前に印刷、製本を行っています。子どもたちがクリスマスブックを持ち帰った時に、今年度の変更箇所の書き換えを各自でお願いいたします。

P6

★てんし★

いとたかきところには えいこう かみにあれ
ちには へいわ みここにかなう ひとにあれ

↓

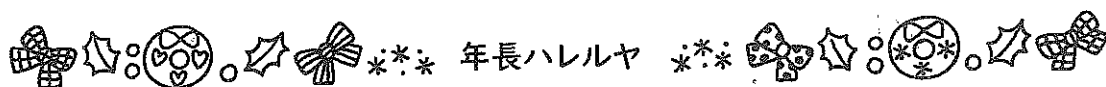
★てんし★ ★みつかい★

いとたかきところには…

※今年度は てんし と みつかい が一緒にセリフを言います

♪さんびか「もろびとこぞりて」

今年度は、1 番から 4 番を歌った後、4 番を繰り返します。



11月中旬から始まったハレルヤ。場面ごとに、出てくる役の人たちが遊戯室に集まります。

ハレルヤを行う時の遊戯室は…イエスさまがお生まれになった馬小屋のイメージで、カーテンを閉め、少し暗くして、讃美礼拝当日と同じになっています。

体全体を使った発声練習をして、お祈りをしてから、始まります。発声練習で体と心をリラックスさせた後、すぐに“真剣モード”になり、緊張感のある雰囲気の中、セリフや動きを確認していきます。この切り替えの姿は、さすが、年長さん!!といったところです。

一人一人が役を担っている年長さん。覚えたセリフを言うのに精いっぱい、つい早口になる、などドキドキする気持ちがこちらにも伝わってくる子いますが、回を重ねるごとに、自信をもって臨む姿があります。ハレルヤの終わりには、その時間を振り返り、お互いに素敵だったところ・良かったところを伝えます。仲間からの言葉で、嬉しさや自信を持つことができるのだと思います。

今年はインフルエンザの流行などあり、場面ごととはいえ、全員が揃わないことも多いです。ハンドベルのメンバーもそういった日が続いています。欠席者がいる時でも、できる範囲で練習を重ねています。自分の音を知り、曲のどこで鳴らすかを覚えていきます。指揮をする保育者をしっかり見ることが大切で、心を合わせ、素敵な演奏をするポイントです。先日、聖歌隊（年中さん）と一緒に演奏した際には、綺麗な音色を響かせていました。全員揃ったら、もっと素敵な演奏になるのだろうな、と感じ、その日が来るのが楽しみです。

あと1週間ほどで讃美礼拝になります。ぜひ、ご家庭でも、子どもたちと一緒に、クリスマスの讃美歌を歌ってみてください♪

皆の健康が守られ、讃美礼拝を迎えられるよう、願うばかりです。



(Kumi)



聖歌隊 ハレルヤの様子



ハレルヤ1日目、普段の年中あつまりと違う雰囲気、少し緊張した面持ちで集まってきた年中さんたち。クリスマスのお話を讃美歌とともに振り返ると「去年歌ったの覚えてるよ!」と口ずさむ声が聞こえてきました。年中さんの一人ひとりにクリスマスの喜びを伝える“聖歌隊”という大切な役割が神様から与えられたという話を、真剣な表情で聞いていました。

クリスマスのお話の情景とともに、どんなふうに歌いたいか年中さんに聞いてみると、「きれいな声」「みんなで同じ声で」「優しい声」「心で歌いたい」など答えてくれました。聖歌隊になった子どもたちが自分なりに色々と感じて考えていることを嬉しく思いました。



11月の後半には、聖歌隊になった一人ひとりにクリスマスブックを手渡しました。年長さんのクリスマスブックに憧れて心待ちにしていた子も、まだ自分が聖歌隊なんだという実感が湧かない様子だった子も、目を輝かせて受け取りました。ハレルヤが終わるとさっそくクリスマスブックに色を塗る姿や、遊びの時間にクリスマスブックを開いて嬉しそうに歌う姿がありました。聖歌隊になって半月が過ぎた今では、歌詞が分からなくて不安気だった子も、みんなで繰り返し歌う中で自信がついて、口を大きく動かして歌えるようになってきました。キャンドルは世界を照らすイエスさまの光だから大切に持つこと、司会者の言葉とオルガンの音を聞いて立ったりキャンドルを灯したりすることなど覚えることがたくさんありますが、やる気いっぱいの中さんたちは、一生懸命頑張っています。初めてハンドベルの年長さんと一緒にハレルヤを行った時には、ハンドベルの音色に夢中になり、歌うことを忘れてしまう可愛い姿もありました(^^)

クリスマスブックをもらうこと、キャンドルを持つこと、年長さんのように遊戲室でハレルヤをすること一つひとつに、嬉しくて仕方がないという表情や、「やったー!」と飛び上がって体全体で喜びを表現する年中さん。その姿に、保育者も喜びを分け与えてもらっています。

ぜひ、おうちでもクリスマスブックを開いて一緒に讃美歌を歌い、聖歌隊になった年中さんとクリスマスを待ち望む時をともに過ごしていただければと思います。



年少 ハレルヤ

年少さんに「クリスマスってどんな日？」と聞いてみました。すでにクラスで年長さんや年中さんからクリスマスの話を聞いていたようで「お祝いする日!」「イエス様の誕生日!」という声が多く聞こえました。きっとこれまでは「サンタさんの日」「ケーキを食べる日」だったのだらうと想像しますが、これからハレルヤやあつまりを通して、“本当のクリスマスの意味”を子どもたちに伝えていきたいと思います。

年少さんもハレルヤしたよ!

ハレルヤや学年別のあつまりの時間を利用して、約 4 回にわたり“聖話(聖書に基づいたお話)”を子どもたちに伝えました。世界で一番初めのクリスマスのお話です。♪きれいな星の光る夜に~讃美礼拝で歌う讃美歌やセリフを織り交ぜながら、一つひとつの場面を紙芝居や絵本を使ってお話しました。中には讃美歌を知っていて、一緒に歌ってくれる子もいましたよ。

また、他の日には天使や星、ひつじになってリズムもしてみました。ピアノの音に合わせてひつじになって四つ這いで歩いてみたり、星や天使になって手をヒラヒラ、キラキラさせて歩いてみたり、身体を動かしながらなりきって楽しんでいました。

待ちに待ったクリスマスブック!

年長さん年中さんが大事に使っている様子を見ていた年少さん、「今から年少さんにもクリスマスブックを渡します!」と伝えたら「わーい!」「やったあ!」と歓声があがりました。憧れのお兄さんお姉さんと同じものを自分たちももらえる、そんな嬉しさにあふれた表情でした。「リュックのポケットに入れておくんだよね」としまう場所までよく知っていた年少さん、クラスに戻った後は「見て!ぼくたちももらったよ」と年長さん年中さんに報告していました。また、年長さんたちも「良かったね」「無くさないようにね」と優しく声をかけてくれていました。

ぼくたち、わたしたちにも役がある!?

讃美礼拝の日は年少さんも役があります。かわいい天使、星、ひつじになって一緒に礼拝に集い、讃美歌を歌い、心を合わせてお祈りし、イエス様の誕生をお祝いします。

当日、大きな動きやセリフはありませんが礼拝で歌う讃美歌を少しずつ覚え、気持ちを高めていきます。もちろん衣装もちゃんとあります!天使、星、ひつじ、それぞれの役で身につける衣装や冠を紹介し、自分たちがやりたい役を選んでもらいました。



2 学期の後半になって一気に交友だちが増え、賑やかになったにじぐみさん。まだ新しい交友だちの中にはおうちの方と別れる時にちょっぴり涙が出てしまう子もいます。しかし、身支度を終えて元気いっぱい遊んでいる交友だちの様子を見ていると気持ちも切り替わって、何してあそぼうかな?と元気が出てきます。交友だちパワーはすごい!遊び始めたら、お外では元気にキックバイクを乗り回していたり、おにいさんおねえさんたちの人気のドロケイや氷オニ、ワニワニごっこに仲間入りしている子もいます。懐中電灯を持ってトンネル探検も大好きです。真っ暗で怖くても交友だちと一緒になら大丈夫!いつのまにかトンネルから地上へ上がるコースもマスターしています。

また一緒に食事をするようになって、「〇〇ちゃんとすわりたい。」とそんなことを保育者に言いにくる子が増えてきました。「自分で誘ってみようか。」と声を掛け、言えない子には「先生と一緒に言ってみよう。」と伝えています。これから自分たちで約束ができるようになるといいなと思っています。これから交友関係がとてどもとんと広がっていくことがとても楽しみです。

クリスマスってしってる?

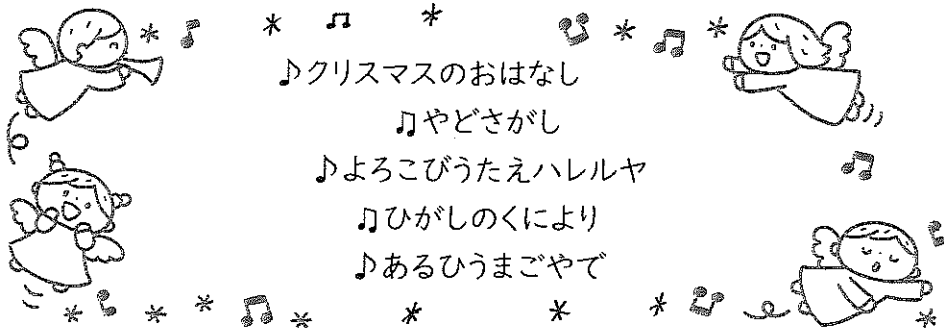
「クリスマスってしってる?」の問いかけに「しってるー!」「サンタさん!」「クリスマスツリーおうちにあるよ!」など様々な声が聞かれました。クリスマスってなんだか嬉しいことは子どもたちも感じているようです。「本当はクリスマスってイエス様がお生まれになったとっても嬉しい日なんだよ。」とお話すると、「えー!?!」とびっくり。今から2000年以上も昔のお話を想像するのは難しいことです。しかし、本当のクリスマスの意味をこれからじっくり時間をかけて伝えていけたらと思います。そしてこの喜びの日を皆で分かち合えたら嬉しいです。

にじぐみのクリスマス礼拝はパネルシアターを使って、イエス様の誕生をお祝いします。

おうちの方も子どもたちと一緒に讃美歌を歌い礼拝を護りましょう。

ぜひおうちでもクリスマスブックを見ながらお子さんと一緒に歌ってみてくださいね。

にじぐみの皆もアドベントカレンダーを順番に飾りながら、その日を楽しみに待っています。



※にじぐみのクリスマス礼拝ではやどさがし以外一番のみ歌います。